

EZ Controller

バージョンアップマニュアル

このたびは、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

本書では、新しいバージョンで対応した新機能の説明を記載しています。

The graphic features the text "What's New" in a bold, red, sans-serif font. The word "What's" is smaller and positioned to the left of "New". The text is set against a light blue, rounded rectangular background that has a subtle gradient and a slight shadow effect, giving it a three-dimensional appearance.

1 バージョンアップマニュアル



G090209

新しいバージョンで追加になった新しい機能の紹介や、品質向上項目を、バージョンごとに記載しています。ご覧になりたいバージョンの「+」をクリックしてください。

■ Ver.2からVer.2.2について

◆ 機能追加

[👉「追加機能一覧」](#)

2 Ver.2からVer.2.2について

2.1 追加機能一覧

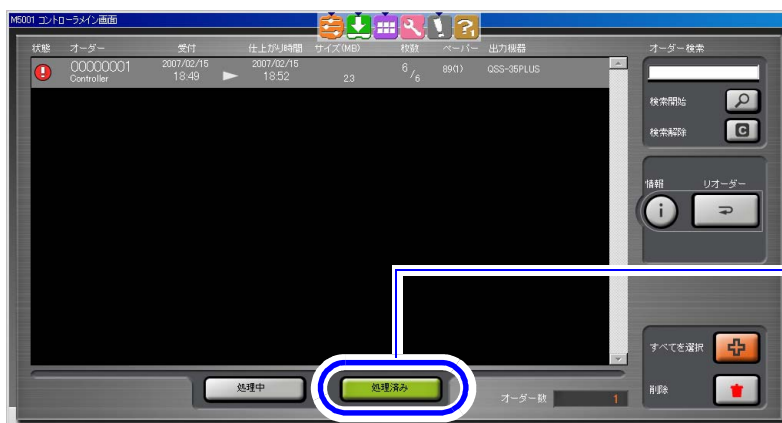
番号	項目
1	☞「2.1.1 処理済みオーダーを再度処理する場合、プリント枚数を変更するなどオーダーの内容を変更できるようになりました。」
2	☞「2.1.2「1コマ拡大表示」画面や「エディット」画面で画像の編集をするときに、画面上に目盛りを表示することができますが、その目盛りの間隔を、数値入力をして任意に設定できるようになりました。」
3	☞「2.1.3 終業点検のとき、スキャナーの点検が必要ない場合は、「終業点検メニュー」画面上で必要ないことを確認できるようになりました。」
4	☞「2.1.4 取り扱いのできる最大画像サイズが、総ピクセル数で66,560,000ピクセルになりました。」

2.1.1 処理済みオーダーを再度処理する場合、プリント枚数を変更するなどオーダーの内容を変更できるようになりました。

処理済みオーダーを再度処理するときに、「リオーダー」画面が表示されます。この画面でプリント枚数の変更など、オーダーの内容を変更することができます。

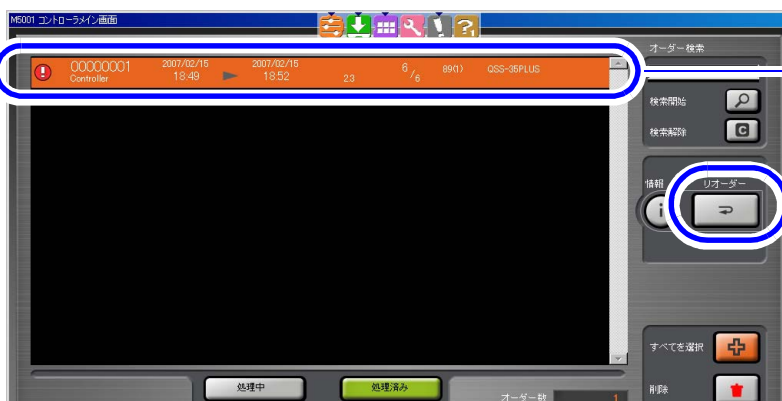
操作手順

1. 「処理済み」ボタンをクリックし、処理済みオーダーの画面を表示します。



S5001-00-UM11V220

2. 目的のオーダーを選択し、「リオーダー」ボタンをクリックします。



S5001-00-UM12V220

「リオーダー」画面が表示されます。

3. 前回とオーダーの内容を変更する場合は、オーダーの設定をします。

重要

- 「リオーダー」画面では、前回行った処理を無効に設定変更することはできますが、前回行っていない処理を新たに設定することはできません。
例えば、前回プリントを行ったオーダーについては、「リオーダー」画面で、プリントしない設定に変更することはできますが、前回プリントを行っていないオーダーについては、「リオーダー」画面でプリントする設定に変更することはできません。

(例)「リオーダー」画面

S090119V220

参考

- 「注文情報」タブ、「画像情報」タブ、「出力情報」タブをそれぞれクリックすると、前回処理時のオーダーの詳細情報を見ることができます。

- 各タブの詳細については、スタートガイド参照

以下の表の番号は、画面中の番号に対応しています。

番号	項目	説明
1	オーダー ID	オーダーナンバーが表示されています。
2	端末名	オーダーを受け付けた端末名が表示されています。
3	結果	前回オーダーを処理したときの処理結果が表示されています。 <ul style="list-style-type: none"> 正常終了 前回、正常に処理されたオーダー 削除 前回、処理せずに削除されたオーダー
4	プリントチャンネル	プリントチャンネルの番号が表示されています。 外部受付端末からのオーダーの場合、番号は表示されません。
5	プリントタイプ	プリントタイプが表示されています。 外部受付端末からのオーダーの場合、「ネットオーダー」と表示されます。

番号	項目	説明
6	プリント	<p>プリントするかどうかを設定します。 前回処理時にプリント出力しなかった場合は、設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) プリントします。 • <input type="checkbox"/> (チェックなし) プリントしません。
7	プリント枚数	<p>プリント枚数を設定します。 「プリント」を <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にした場合のみ、設定できます。 プリントタイプにより、設定できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) オーダー内の全コマに対して設定したプリント枚数でプリントします。(前回処理時にパスしたコマもプリントされます。) • <input type="checkbox"/> (チェックなし) 各コマについて、前回処理した時と同じプリント枚数でプリントします。
8	インデックス	<p>インデックスプリントをするかどうかを設定します。 前回処理時にインデックスプリントをプリントしなかった場合は、設定できません。 プリントタイプにより、設定できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) インデックスプリントをプリントします。 <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にすると、インデックスプリントの枚数を設定できます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • インデックスプリントのプリントサイズはプリントチャンネルの設定に準じます。 <ul style="list-style-type: none"> • <input type="checkbox"/> (チェックなし) インデックスプリントをプリントしません。
9	メディア出力	<p>記憶メディアにオーダーを保存するかどうかを設定します。 前回処理時に記憶メディアにオーダーを保存しなかった場合は、設定できません。 前回処理時に、外部受付端末側でメディア出力をした場合は、設定できません。 プリントタイプにより、設定できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) 記憶メディアにオーダーを保存します。 <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にすると、メディア出力枚数を設定できます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前回処理したメディア出力サービスの設定に基づいて保存されます。前回のメディア出力サービスの種類は、「注文情報」タブで確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> • <input type="checkbox"/> (チェックなし) 記憶メディアにオーダーを保存しません。
10	複数オーダー書き込み	<p>複数のオーダーを1枚の記憶メディアに書き込むかどうかを設定します。 「メディア出力」を <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にした場合のみ、設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) 複数のオーダーを1枚の記憶メディアに保存します。<input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にしたオーダーを、同一の記憶メディアに保存します。 <ul style="list-style-type: none"> • 保存方法については、スタートガイド参照 <ul style="list-style-type: none"> • <input type="checkbox"/> (チェックなし) オーダーごとに1枚の記憶メディアに保存します。

番号	項目	説明
11	ラベルインデックス	ラベルインデックスプリントをするかどうか設定します。 前回処理時にラベルインデックスプリントをプリントしなかった場合は、設定できません。 プリントタイプにより、設定できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) ラベルインデックスプリントをプリントします。 <input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にすると、ラベルインデックスプリントの枚数を設定できます。 <input type="checkbox"/> (チェックなし) ラベルインデックスプリントをプリントしません。
12	プリント方式	プリント方式を設定します。 プリントタイプにより、設定できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> PJP PPI AUTO
13	優先度	オーダーの優先度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 超特急仕上げ 処理中オーダーリスト内の同一の優先度のオーダーの次に追加されます。 ----- 処理中オーダーリスト内の最後に追加されます。

4. 「登録」ボタンをクリックします。

選択したオーダーが、処理中/処理待ちオーダーリストに移動します。
複数のオーダーを選択していた場合は、次のオーダーの「リオーダー」画面が表示されるので、手順 3 から行ってください。

2.1.2 「1コマ拡大表示」画面や「エディット」画面で画像の編集をするときに、画面上に目盛りを表示することができますが、その目盛りの間隔を、数値入力をして任意に設定できるようになりました。

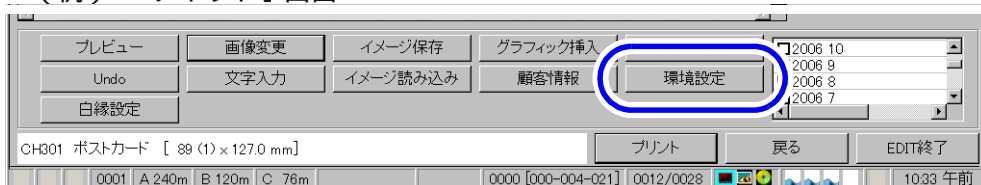
目盛りの間隔の設定に「数値入力」という選択肢が追加され、これを選択すると数値入力ができるようになります。数値を入力して目盛りの間隔を任意に設定することができます。

設定手順

ここで説明している操作は、「エディット」画面での操作を中心に説明をしています。「1コマ拡大表示」画面の場合、画面の表示は少し異なりますが、操作方法は同じです。

1. 「環境設定」ボタンをクリックします。

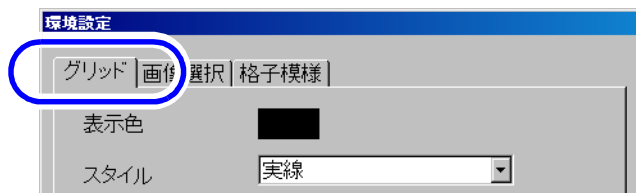
(例)「エディット」画面



「環境設定」画面が表示されます。

2. 「環境設定」画面で「グリッド」タブをクリックします。

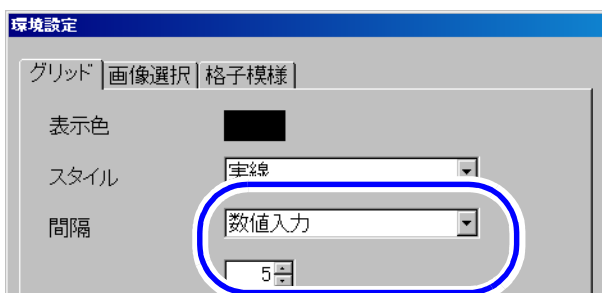
(例)「環境設定」画面



S0300-00-UM23V220

3. ▼(矢印ボタン)をクリックして目盛りの間隔を選択します。

目盛りの間隔を「荒い」「普通」「細かい」「数値入力」から選択します。
「数値入力」を選択した場合は、数値を入力します。



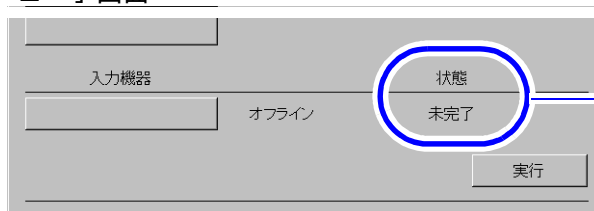
S0300-00-UM23V220

4. 「設定」ボタンをクリックし、「環境設定」画面を閉じます。

2.1.3 終業点検のとき、スキャナーの点検が必要ない場合は、「終業点検メニュー」画面上で必要ないことを確認できるようになりました。

1日のフィルム処理本数が50本未満の場合は、スキャナーの終業点検項目である「クリーニングリーダーによる清掃」が必要ありません。この場合、「終業点検メニュー」画面上の入力機器の状態表示に「不要」と表示されます。

(例)「終業点検メニュー」画面



「不要」と表示されます。

S5001-00-UM06V220

2.1.4 取り扱いのできる最大画像サイズが、総ピクセル数で66,560,000ピクセルになりました。

これまで取り扱いのできる最大画像サイズは、総ピクセル数64,000,000ピクセル(例 5,120ピクセル×12,500ピクセル)でしたが、総ピクセル数66,560,000ピクセル(例 5,120ピクセル×13,000ピクセル)の画像サイズまで取り扱い可能となります。
また、取り扱いのできる最小画像サイズは、総ピクセル数で1,024ピクセル(例として、32ピクセル×32ピクセル)です。

ただし、以下の条件を満たす画像は取り扱いできません。

- 縦横どちらか片方が32ピクセル未満のとき
- 縦横両方とも5,120ピクセルを超えるとき
- 縦横どちらか片方が13,000ピクセルを超えるとき